

# 先輩職員紹介(一般事務職)

INTERVIEW

氏名または写真をクリック！

事務 経済観光部観光まちづくり課

渡邊 Watanabe  
主事(2017年入職)



事務 財務部財政課

一面 Ichimen  
主任(2019年入職)



大切なのは、  
「やってみよう！」という気持ち。

地元への愛着を、  
仕事のやりがいに。

事務 下水道部下水道経営総務課

水村 Mizumura  
主任(2007年入職)



学校教育部  
新たな学校づくり推進課

石阪 Ishizaka  
担当係長(2012年入職)



仕事も、育児も、  
チームワークを大切に。

部下の「良い顔」を引き出す、  
それがわたしの原動力。

※職員の所属・役職名等は、2024年3月時点のものです。



町田市  
経済観光部観光まちづくり課

主事 **渡邊**  
Watanabe

# 一般事務職 # 2017年入職  
# 市内出身 # 新卒

、なんだ かんた /  
まちだ

**大切なのは、  
「やってみよう！」  
という気持ち。**

Q1. 町田市を選んだ理由は？★

**『まちだの未来』への熱量を感じたから！**

幅広いターゲットに対して仕事をしたいと思い、市役所職員を選択肢に入れていました。就職活動中に身近な自治体の基本計画を調べたところ、町田市は「現状維持ではなく、未来のために行動を起こそう！」という熱量を感じました。この熱量と町田市出身であることが相まって、自分も進んで仕事に取り組みそうだと思い、志望しました。

Q2. 現在の仕事内容は？★

## 観光交流拠点のイベント企画

「小野路宿里山交流館」という観光交流拠点の担当をしています。指定管理施設のため施設に常駐はしませんが、月に2、3回は施設を訪れ、季節に合わせたイベント企画や運営状況の確認を行っています。最近はコロナ禍でもどのように小野路地域を楽しんでもらうか、指定管理者と悩みながらも前向きに取り組んでいます。



テレワーク

月に3日程度



時差勤務

していない  
(8:20~17:05)

### Q3. 町田市で働く魅力は？★

## 幅広い業務を通じて、様々な経験値を得られる！

多くの業務を経験できる点が魅力だと思います。私は入職後すぐは市民センターに配属され、住民票や健康保険などの制度を市民の方が利用できるように説明する役割をしていました。この経験は制度を利用する側の目線を意識することに繋がっており、今の仕事にも役立っています。このように異動をする度、違う経験値を得られることは魅力だと思います。

### Q4. 仕事のやりがいは？★

## 自分のアイデアで、多くの人を笑顔に！

アイデアを実現して、多くの方に喜んでもらえる場面は特にやりがいを感じます。例えば、稲城市や多摩市と連携して3市を周るツアーや、町田さくらまつりの会場ごとの新しい取組の企画・実施をしました。実現に向けた調整が大変な場面もありますが、常に「やってみよう！」という気持ちで仕事に取り組んでいます。

### Q5. 「なんだかんだ言っても町田のココが一番」だと思うことは？★

## 百面相なところ

町田はコレだ！と絞り切れず、いろいろな面を持っているところが素敵なおところだと思います。町田駅前のような商業施設の賑わいだけでなく、自然に囲まれ落ち着いた里山もあります。都内で2番目に公園が多く、歴史ある遺跡も1,000ヶ所くらいあります。百面相だからこそ、いろいろな人が愛着をもって集まっているのだと思います。



## 就活生へメッセージ

就職活動は、他人から評価される場面の連続だと思います。ときには、面接等が思うようにいかず自己嫌悪に陥ることもあるかもしれませんが、落ち込む必要はありません。自分に自信がなくなって、本来の自分の実力が発揮できなくなるほうがもったいないです。反省することは必要ですが、自分を責めすぎないようにして就職活動頑張ってください。



## 地元への愛着を、 仕事のやりがいに。

町田市  
財務部財政課

主任

一面  
Ichimen

# 一般事務職 # 2019年入職  
# 市内出身 # 転職

「なんだかんだ」  
まちだ

Q1. 町田市を選んだ理由は？ ★

## 町田は『生まれ育った場所』だから！

私の生まれ育った場所であり、市民としての幼少期からの経験を業務に生かせると感じたからです。自らの経験上、「町田市民は地元への愛着心が強い人が多い」とよく言われましたが、私もその一人です。そう感じてもらえる人を今後も増やし続けられるようなまちづくりをしたいという思いから、町田市を選び、現在に至っています。

Q2. 現在の仕事内容は？ ★

## 市の予算に関する業務

担当業務としては、予算の編成や執行管理、財源調整など、市の予算に関する仕事を行っています。また、財源確保のための市債（市の借入金）の借入や、市の歳出入及び財政指標等の状況について決算結果の分析・報告を行う決算統計等の仕事に携わっています。



テレワーク

していない



時差勤務

していない  
(8:20~17:05)

### Q3. 町田市で働く魅力は？★

## 町田市は人的・地理的利点が多い！

町田市は、多摩26市では2番目に人口規模が大きく、人的にも財政的にも及ぼす影響力が大きい事業が数多くあるため、どの部署に配属されても相応の責任感が感じられます。また、市の今後を考えるにあたり、町田市は人的・地理的利点が多く、それらの活用方法が非常に多岐にわたるという点で、ここで働くことの魅力や、やりがいを感じています。

### Q4. 仕事のやりがいは？★

## 全市的な視点を持てる！

私は前職でサービス業に従事しており、その時の仕事のやりがいはお客様から頂く感謝の言葉でした。一方で、現在の業務では市民の方々との直接的なやりとりは大きく減りましたが、予算編成を通じ、市の財源の使い道を、市の財政全体を把握しながら検討できるため、全市的な視点を持てるこの仕事に前職とは違ったやりがいを感じています。

### Q5. 「なんだかんだ言っても町田のココが一番」だと思うことは？★

## ショッピングもレジャーもバランスよく楽しめるところ

町田市の中心市街地は多くの商業ビルが隣接していて、それらを歩いて楽しむことができます。また、海に行きたい、山に行きたいと思った時には、それぞれ1時間以内に行くことができるので、バランスよくショッピングもレジャーも楽しむことができる『まちだ』って、やっぱりいいなあと感じています。



## 就活生へメッセージ

町田市は、自分や周囲の人を大切にする職員が非常に多い自治体だと感じています。業務上の不明点や困難があったときには声を掛け合い、一丸となって前に進めることができる環境だと思います。市役所は多岐にわたる業務に専門性を持って臨まなければならないため、大変なこともあるかと思いますが、お互い切磋琢磨しながら、同僚として共に仕事ができることを楽しみにしています。



## 仕事も、育児も、 チームワークを 大切に。

町田市

下水道部下水道経営総務課

主任 水村  
Mizumura

# 一般事務職 # 2007年入職

# 市内出身 # 新卒

、なんだかんだノ

まちだ

Q1. 町田市を選んだ理由は？

## 愛着ある地元で行政に関わりたかったから！

子供時代、町田市ジュニアリーダーズクラブで活動する中で、人と関わりをもつことの楽しさを知り、また、市内の文化や芸術、自然を楽しみながら育ちました。就職の際は、話し好きな性格が活かせて、人の役に立つ仕事がしたいと考え、愛着ある地元で行政を担う側から様々な角度で関わっていきたく思ったため、町田市を選択しました。

Q2. 現在の仕事内容は？

## 下水道部の職員人件費の予算管理

下水道部に所属する職員人件費の予算を執行管理する業務を担当しています。給与の支払や保険料等の納付を行うとともに、予算の執行状況を管理しています。また、経営改善の一環として立ち上げた下水道資産有効活用検討部会の事務局として、下水処理場施設への太陽光発電設備の導入に向けた検討などを行っています。



テレワーク

月に3日程度



時差勤務

している  
(8:00~16:45)  
※部分休業取得中

Q3. 育児休業を取得した期間や取得した感想は？★

## 妊娠してから出産後も安心して働ける！

第1子で2年間、第2子で1年半、産休育休を取得しました。特に、第2子妊娠中には予期せず入院が必要となりましたが、職場の方々の理解と励ましのおかげで、安心して出産と育児に専念することができました。また、妊娠中には妊婦健診のための休暇も活用しました。出産関連の制度が整っていることや周囲の理解があることは、公務員として働く魅力の一つだと感じています。

Q4. 子育てと仕事の両立をどのように実現しているか？★

## 仕事も育児もチームワークが大切！

時差勤務と部分休業を活用し、朝は8時から勤務、夕方は子どものお迎えのため早く退勤しています。子育ても仕事もチームワークで、急な呼び出しがあれば家族と調整して対応するか、必要に応じて職場の仲間に仕事の協力をお願いして対応しています。また、子どもの予防接種、健診や看護の際にはそのための休暇制度を、学級閉鎖等で出勤が難しいときにはテレワークを活用して、子育てと仕事の両立に役立てています。

Q5. 「なんだかんだ言っても町田のココが一番」だと思うことは？★

## 大人も子どもも住みやすいまち

駅周辺には商店街や商業施設がある一方で、里山や公園、キャンプ場など自然に触れられる環境もあります。また、新宿、横浜、箱根へのアクセスも良好で、休日のお出かけにも便利です。さらに、子育てを支える補助やサービスも充実しているため、大人も子どもも住みやすいところが、町田の魅力だと思います。



## 就活生へメッセージ

町田市は、庁内の関係部署をはじめ、市民の方や事業者の方など、様々な方々と関わり、協力して多様な課題に取り組んでいます。異なる立場でも相手とのコミュニケーションを大切に、新たな挑戦を恐れず前向きに取り組む姿勢と、持続可能な行政サービスを実現していく経営意識が求められる仕事です。ぜひ私たちと協力して、町田市をより良いまちにしていきましょう！



**部下の「良い顔」を引き出す、  
それがわたしの原動力。**

町田市  
学校教育部新たな学校づくり推進課

担当係長 **石阪**  
Ishizaka

# 一般事務職 # 2012年入職  
# 市内出身 # 転職

「なんだかんだ」  
まちだ

Q1. 町田市を選んだ理由は？

**幅広い角度から「地元」に関われるから！**

町田生まれ、町田育ちなので、自分の生まれ育った地元で仕事がしたいと考えたからです。また、入庁前に他の仕事も経験しましたが、地元で仕事をするならば、幅広い角度から「地元」に関われる市役所で働きたいと思い、町田市を選びました。

Q2. 現在の仕事内容は？

**まちだの「新たな学校づくり」を推進**

町田市新たな学校づくり推進計画に掲げる、「新たな学校づくり」を進める仕事です。新たな学校をつくるための検討課題について関係者で検討を行う、「基本計画検討会」の運営などを担当しています。

具体的には、地域・保護者の方々、校長・副校長先生などとの話し合いや、庁内外の関係するの方々との調整などを行っており、この歳にして頻繁に学校に通っています。



テレワーク

月に3日程度



時差勤務

していない  
(8:20~17:05)



Q3. 入職から現在までのキャリアは？★

## メンバーが力を発揮できる環境づくりを！

入庁して最初の職場は議会事務局議事係、その後都市づくり部交通事業推進課を経て、2022年4月から現在の職場です。以前は、自分の担当業務を中心に仕事を捉えていましたが、係長昇任後は、チームで仕事を進めること、メンバーが力を発揮できる環境をつくることなどを軸に考えるようになり、少しではありますが視野が広がったように思います。

Q4. 仕事のやりがいは？★

## チームの結束を感じるとき！

チームの皆がそれぞれの持ち味を発揮し、協力しながら仕事を進めているときや、部下が明るく「良い顔」で仕事に取り組んでいる姿を見られることがやりがいです。また、チームの結束を感じるときや、部下が生き生きとしている姿を見たときなどは、係長職としてのやりがいを感じられる瞬間だと思います。

Q5. 「なんだかんだ言っても町田のココが一番」だと思うことは？★

## 路線バス網が発達しているところ

町田市は市域が広いですが、市内を移動しているとほとんどの地域で路線バスを見かけます。全国的に見ても、同規模の都市で町田市ほど路線バス網が発達し、高いサービス水準にある都市は珍しいと思います。路線バスに乗って、市内の公園や名所などを1日巡ってみるのも面白いかもしれませんね。



## 就活生へメッセージ

町田市では、庁内をはじめ、地域の方や事業者の方など、多様な方々と直接コミュニケーションをとりながら進めていく仕事が多くあります。それぞれの立場がある中での調整は難しいこともありますが、結局は人と人の関係性、つながりが大事になると私は思います。明るく、前向きに、楽しんで仕事ができる方と一緒に働けたらと思います。